

DRA-CAD20 シリーズ

新機能概要

プランニングは、次のステージへ

設計に関するさまざまな情報を活用して、図面に補足データを加える。クラウドやスマートフォンとの連携も強化した最新バージョンです。

価格

DRA-CAD20	建築設計・製図CAD	209,000円(税込)
DRA-CAD20 LE	建築2次元製図CAD	104,500円(税込)

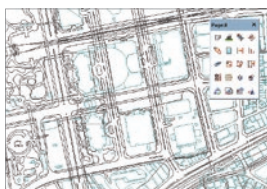
※ キャンペーン期間(2022年3月31日まで)は優待価格があります。

 3D - DRA-CAD20のみの機能(DRA-CAD20 LEではご利用できません)

設計に関わる情報を図面に加える

基盤地図情報の活用

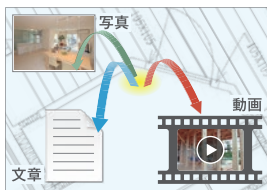
国土地理院から入手したJPGIS(GML)データを利用できます。計画地の周辺街区を図面に取り込み、案内図への利用のほか、プランニング時に役立ちます。



インポートしたGML

動画や写真、WEB情報を加える

図面として表現できない動画を図面に埋め込み、マーカー表示されます。WEBや写真、文字列などの設計情報を、メディアオブジェクトとしてパソコン上でのみ表示できます。

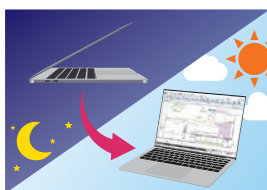


図面に格納されるイメージ

スマートな設計環境を構築

昨日の続きをスマートに始める

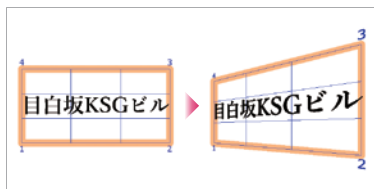
DRA-CAD終了時に開いていた図面を、大きさや表示位置をそっくりそのまま、DRA-CADの起動と同時に開きます。作業の続きをすぐに始められます。



スマートに作業を継続

矩形変形

長方形から任意の四角形に、図形を変形できます。簡単な操作で、文字や図形をパス風に表示できます。



文字も線分化して斜めへ変形

図形の数量をより高度に集計

選択するだけでクイック集計

指定した図形と同じ属性の図形の個数や長さ、面積などをワンタッチで集計して、エクセルなどへ貼り付けられます。図形の数量を簡単に取得して、数量拾いや積算などに利用できます。

三次元機能の強化

全国56都市の3Dモデルの活用

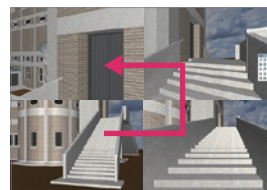
国土交通省Project PLATEAUで公開されている都市モデルデータ(OBJ形式)を利用して、モデリングに活用できます。周辺建物との調和や影響を、視覚的に分かりやすく表現できます。



インポートした3D都市モデル

リアルなウォークスルー

スロープや段差、階段を昇り降りしながら建物の内部を歩けます。建物の中を実際に歩いているかのような感覚で、施主やクライアントに疑似体験していただけます。

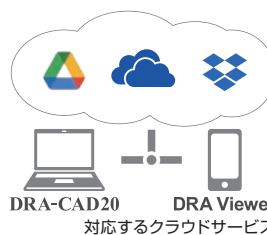


マウス操作で階段を昇る

クラウドやデバイスと連携

クラウドをより利用しやすく

OneDrive(ビジネス、パーソナル)に対応しました。出先でもオフィスにいるときと同じようにデータを利用できます。また、Google Drive™、Dropboxも利用できます。



対応するクラウドサービス

DRA Viewerとの連携強化

外出先でモバイルアプリを使って、図面に貼った現場写真を確認できるようになりました。iPhone/iPadに加えて、Android版のDRA Viewerも活用できます。



撮影した写真を共有

より簡単に部品ごとの集計が可能

ブロックやパッケージの名前、シンボルごとに区別して数量集計できるようになりました。ブロック図形で配置している部品や備品の数量を集計して、表を作成できます。

そのほかの新機能

新しいリボンメニューのスタイル

Windows10のエクスプローラー風に見た目が変わりました。環境設定コマンドで以前のスタイルにもカスタマイズできます。

主な新機能対応表

	バージョン	20	19	18
スピード				
大量の図形を選択したときのハイライト表示を高速化		◎		
ブロック図形が大量にある図面の読み込み高速化		○	○	
GD(描画モード)で図面表示を高速化		○	○	○
パンニングやズームアップダウンの連続操作性を向上		○	○	○
クラウド				
OneDriveへ読み書きできる		◎		
「DRA Viewer」の注釈を反映して表示できる		○	○	
Dropboxへ読み書きできる		○	○	
Google Driveへ読み書きできる		○	○	○
整合性と省力化				
ほかの図面の指定レイヤーを入れ替えたり、マージしたりできる		○	○	
図面を「読み取り専用で開く」		○	○	○
操作性				
前回終了時に開いていた図面を開いて起動できる		◎		
連続延長カットに「この設定を継続して使用」のスイッチを追加		◎		
連続中抜きに「この設定を継続して使用」のスイッチを追加		◎		
指定した寸法線の基点から「寸法線の追加」ができる		◎		
リボンメニュー「開く」の子メニューに最近使ったファイルを配置		◎		
右クリックメニューから最近使ったコマンドが起動できる		◎		
Windows10エクスプローラスタイルの外観に変更		◎		
ダイアログ表示中にF1キーでリファレンスマニュアルを表示		◎		
標準ユーザー権限で、オプションコマンドの登録・実行ができる		◎		
4Kや8Kの高解像度ディスプレイに対応		○	○	
複数図面の印刷で、順番や用紙、レイアウトの有無を設定できる		○	○	
ユニコードをクリップボードから貼りつけて「文字記入」できる		○	○	
「レイアウト管理」で指定したレイアウトを保存できる		○	○	
ホイール回転で「文字アップダウン」「文字交換」の設定を追加		○	○	
リボンメニューの設定、ドキュメントフォルダも「環境移行」できる		○	○	
決まった順番でコマンドを連続実行する「マクロ」機能		○	○	○
コマンド実行中に、マウス両ボタン押しで拡大や全図形表示ができる		○	○	○
図面表現				
動画や画像、リンクを「メディアオブジェクト」として埋め込める		◎		
ユニコード文字で、番号が5桁以上や異体字の入力ができる		○	○	
HPや図面に書ききれない情報を格納できる「QRコード」挿入		○	○	○

対応ファイル形式

ファイル入力	
CAD	mps, mpz, mpx, mpw, mpp, jwc, jww, dwg, dxf, sfc, p21, ifc*, skp*, obj*
画像	bmp, jpg/jpeg, tif/tiff, png
その他	pdf, wmf, emf, xml, gml
ファイル出力	
CAD	mps, mpz, mpx, mpw, mpp, jwc, jww, dwg, dxf, sfc, p21, skp*, stl*, 3ds*, obj*
画像	bmp, jpg/jpeg, tif/tiff, png
動画	avi
その他	pdf, wmf, emf, svg, xml, html

※ DRA-CAD20 LEでは対応していないファイル形式です。

ファイルが開けないそのときに

予期せぬ原因で開けなくなった図面を、修復^{*}して開けるようになります。

※ 修復できるかは図面の状態によるため、必ず開けることを保証するものではありません。

	バージョン	20	19	18
データ変換				
国土地理院の数値地図情報「GML形式の読み込み」に対応		◎		
国交省3D都市モデル「OBJ形式の読み込み」に対応	3D	◎		
「JWW形式への書き出し」で、三角形分割できない図形を明示できる		◎		
「DRA Viewer」で図面に貼った写真を表示できる		◎		
レイヤー分けされたPDFを作成できる		○	○	
複数のPDFファイルを図面へ「一括変換」できる		○	○	
複数のファイル形式へ「一括変換」できる		○	○	
元図面と全てのレイアウト図面をJWW形式に一括保存できる		○	○	
レイアウト図面をMPW/MPP/JWW/JWC/P21/SFCに保存できる		○	○	
すべてのOSで、A3サイズより大きく「リンク貼り付け」ができる		○	○	○
画像形式を指定して「オブジェクトの図形化」ができる		○	○	○
二次元製図				
「矩形変換」で長方形を任意の四角形に変形できる		◎		
閉じたポリラインの「重心」にスナップできる		◎		
指定した寸法線の基点から「寸法線を追加」できる		◎		
「すべての図面を印刷」で複数の印刷範囲も印刷できる		◎		
「すべての図面を印刷」でレイアウトの用紙サイズで印刷できる		◎		
複数図面の印刷で、順番や用紙、レイアウトの有無を設定できる		○	○	
旧寸法線を「ピンセット」でストレッチ分割できる		○	○	
「寸法線」で追い寸法(累進寸法)を作図できる		○	○	○
等間隔に図形を複写できる「連続等間隔複写」		○	○	○
三次元設計				
階段を昇り降りしながらウォークスルーできる	3D	◎		
「面の重心」スナップで二次元のポリラインへもスナップできる	3D	◎		
SketchUp 2020形式の読み書きに対応 ※64bit版 Windowsのみ	3D	○	○	
図形の指定面による「切断線・断面線」を作成できる	3D	○	○	
「重心スナップ」ができる	3D	○	○	
自分で作成した図形を伸縮して配置できる「ストレッチパーツ」	3D	○	○	○
集計、計算				
選んだ図形に関する情報(長さ、面積など)を「クイック集計」できる		◎		
選んだ図形を属性(レイヤ、カラーなど)で「クイック仕分集計」できる		◎		
ブロックやパッケージ、シンボルを区別して「数量集計」できる		◎		
ポリラインと高さを表す文字列から「平均天井高さの算定」ができる		○	○	
X,Y方向長さのリストから一括配置可能になった「領域作成」		○	○	○

◎…DRA-CAD20の新機能&改良機能 ○…それぞれのバージョンで搭載している機能

動作環境

対 応 ○ S : Windows 10^{*1}/8.1^{*2} (64bit/32bit)
 ディスク空き容量 : 1GBのディスク空き容量
 グラフィックス : OpenGLならびにDirectX 9^{*3}の機能をサポート
 できるビデオカードとドライバー
 ライセンス認証 : アクティブーション認証^{*4}
 必要なソフトウェア : .NET Framework 4, 3.5
 そ の 他 : DVD-ROMドライブ

※1 Windows 10 Mobile/Windows 10 Sは除きます。※2 Windows RTは除きます。
 ※3 高速な描画が行えます。※4 アクティブーション認証は仮想化環境では利用できません。
 注) 単住宅3次元コマンドは32ビット版でのみ使用できます。
 注) 64ビット版ではOCXのオプションコマンドは動作しません。